

条例第15条第2項

「流域水循環計画は、健全な水循環の保全を図る緊急性が高いと認められる流域から、順次に定めるものとする。」

策定順の決定フロー

1 各圏域における主な課題及び施策を抽出

- ・ 庁内関係課に照会した結果等をもとに、圏域ごとの主な課題及び課題に関して県が実施している施策を抽出し整理する

2 データを収集・整理し、緊急性を判定する指標とする

- ・ 緊急性の判定に資する既存データを収集・整理し、指標とする

3 各圏域の緊急性を比較し、緊急度の高いものから計画を策定

- ・ 指標から各圏域の現状や傾向を把握する
- ・ 現状、課題、施策等から各圏域の緊急性を評価する
- ・ 各圏域の緊急性を比較し、緊急度の高い圏域から計画の策定を進める

計画の策定順

緊急性の判断基準（緊急性の高い流域）

対 象

課題と指標の例

1 猛暑、集中豪雨等の異常気象等に伴う水循環の変化に的確に対応する必要がある流域

水量（正常流量達成度）
治水（河川整備指標）等

2 開発行為等による水環境への影響に対する県民の不安を払拭する必要がある流域

水質（水質環境基準達成度）
水量（正常流量達成度、地下水涵養指標）
自然環境（植物環境指標、河川生物生息環境指標）等

緊急性の評価（総合的に緊急性を判断）

緊急性



【基礎】
現状



【補正】
傾向

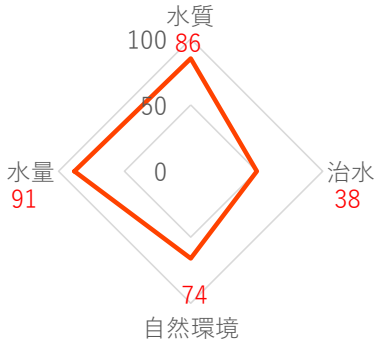


【補正】
地域特有の課題

【基礎】現状（イメージ）

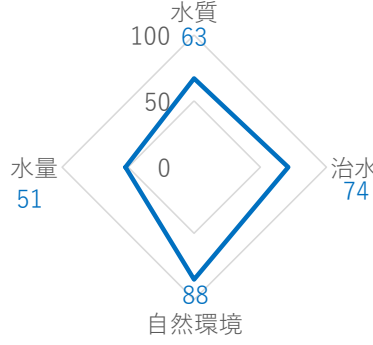
【例1】全圏域で共通の課題・指標で現状を評価

A圏域



— A圏域
評価点 289点

B圏域



— B圏域
評価点 276点

評価点低い
↓
緊急度高い

No	課題	指標
1	水質	BOD・COD・窒素・リン
2	水量	河川流量・地下水涵養
3	治水	河川整備延長
4	自然環境	人為的影響や自然性の程度 指標種や重要種の数

【参考】A圏域の評価点の算定方法

課題1：水質

BOD、COD、窒素、リンの水質環境基準達成度

区分	測点	達成数	評価
河川	14	14	100%
湖沼	2	1	50%
海域	6	4	67%
計	22	19	86%

【評価点】 **86点**

課題3：治水

河川整備指標（河川整備が必要な総延長のうち整備済み延長の割合）

総延長 (km)	整備済み (km)	評価
200	76	38%

【評価点】 **38点**

課題2：水量

正常流量達成度（河川流量が正常流量を満足した日数の割合）

年間日数	満足日数	評価
365	361	99%

地下水涵養指標（土地利用状況に応じた流出係数と森林の流出係数(0.4)との乖離）

区分	流出係数	面積 (ha)	評価
宅地	0.8	50	40
農地	0.6	150	90
森林	0.4	800	320
計		1000	450
土地利用に応じた流出係数			0.5
乖離	(1-0.5)÷(1-0.4)=83%		

【評価点】 **91点**
(99+83)÷2

課題4：自然環境

植物環境指標（土地利用状況を5段階に区分し人為的影響や自然性の程度を算定）

区分	点数	面積 (ha)	評価
宅地	1	50	50
農地	2	100	200
果樹園	3	50	150
人工林	4	700	2800
自然林	5	100	500
計		1000	3700
算定	(3700÷1000)×2=74		

河川生物生息環境指標（最近の調査で生息が確認された主な重要種・指標種の割合）

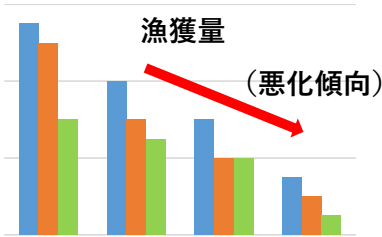
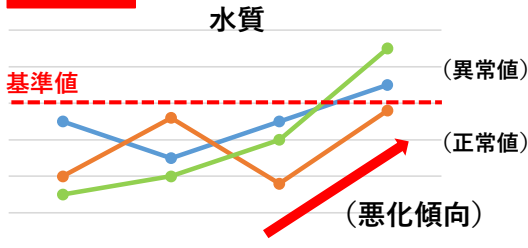
近10年で確認	最近の調査	評価
50	37	74%

【評価点】 **74点**
(74+74)÷2

【補正】傾向（イメージ）

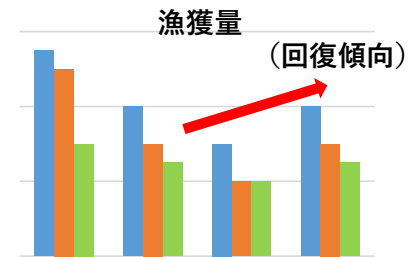
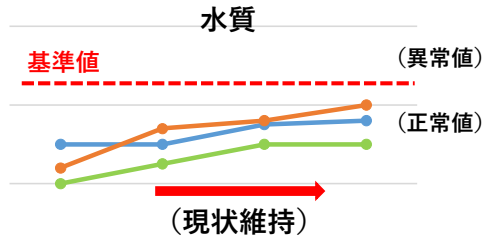
【例 2】 傾向の分析結果から現状の評価点を補正

A 圏域



悪化傾向にある
↓
評価点を補正

B 圏域



【参考】指標の整理

【A圏域】

指標1:水質 (基準値 100)

区分	R1	R2	R3	R4
BOD(青)	96	85	97	104
COD(橙)	80	98	79	99
リン(緑)	77	80	90	115

指標2:漁獲量

区分	R1	R2	R3	R4
アユ(青)	280	200	150	80
シジミ(橙)	250	150	100	50
ウナギ(緑)	150	120	100	20

【B圏域】

指標1:水質 (基準値 100)

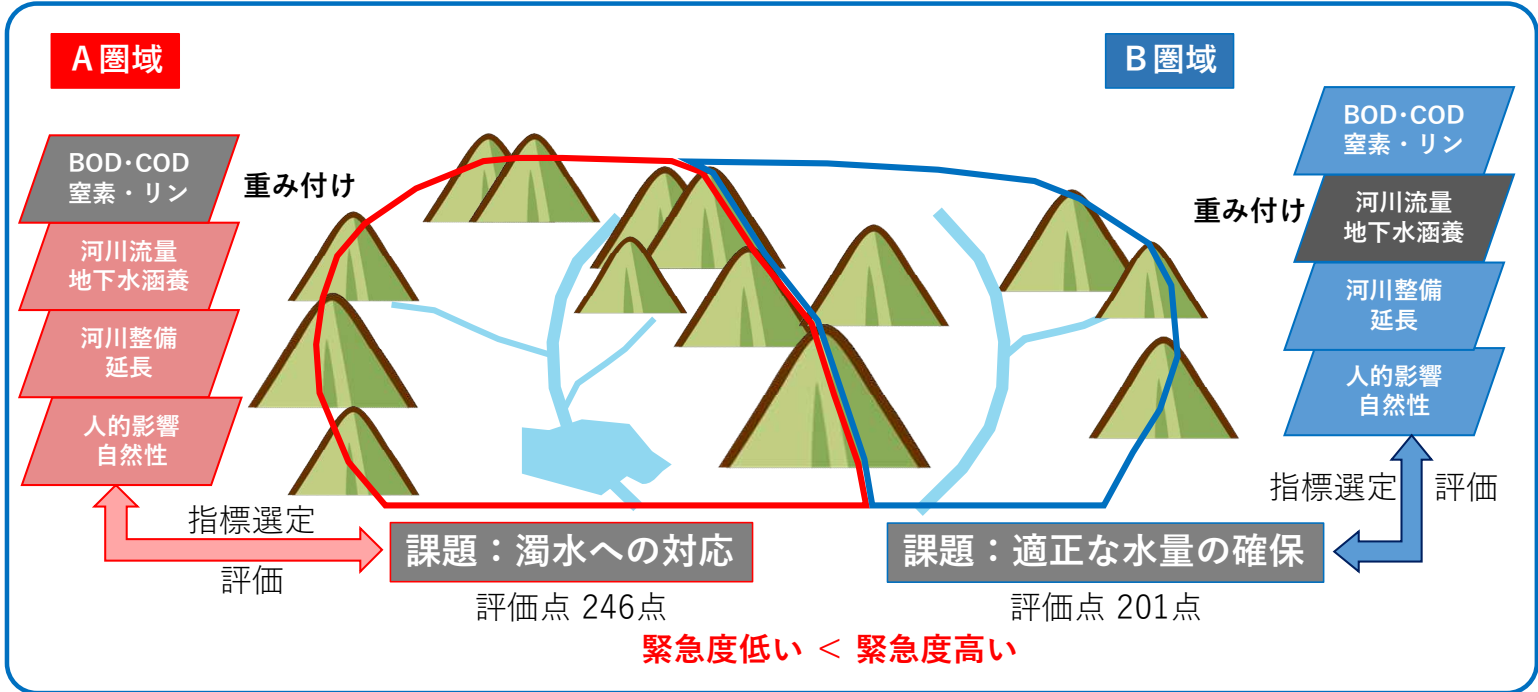
区分	R1	R2	R3	R4
BOD(青)	85	84	87	88
COD(橙)	82	87	88	90
リン(緑)	80	82	83	83

指標2:漁獲量

区分	R1	R2	R3	R4
アユ(青)	270	200	150	200
シジミ(橙)	260	140	100	140
ウナギ(緑)	140	120	100	120

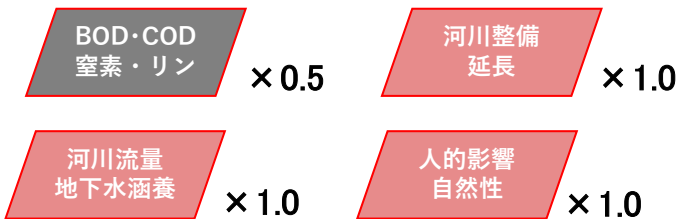
【補正】 地域特有の課題（イメージ）

【例 3】 地域特有の課題に応じた指標に重み付け



【参考】 評価点の算定方法

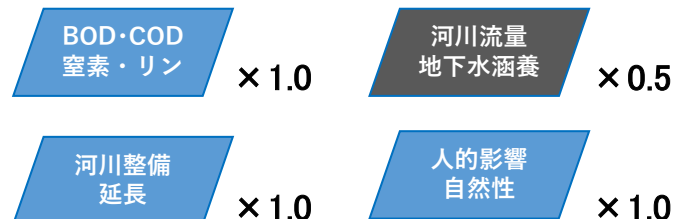
A 圏域 課題：濁水への対応



No	指標	評価点
1	BOD、COD、窒素、リンの水質環境基準達成度 $86 \times 0.5 = 43$	43
2	正常流量達成度（河川流量が正常流量を満足した日数の割合）	91
3	河川整備指標（河川整備が必要な総延長のうち整備済み延長の割合）	38
4	植物環境指標（土地利用状況を5段階に区分し人為的影響や自然性の程度を算定）	74
計		246

【評価点】 **246点**

B 圏域 課題：適正な水量の確保



No	指標	評価点
1	BOD、COD、窒素、リンの水質環境基準達成度	63
2	正常流量達成度（河川流量が正常流量を満足した日数の割合） $51 \times 0.5 = 26$	26
3	河川整備指標（河川整備が必要な総延長のうち整備済み延長の割合）	38
4	植物環境指標（土地利用状況を5段階に区分し人為的影響や自然性の程度を算定）	74
計		201

【評価点】 **201点**

健全な水循環の状態や計画の進捗状況を表す指標（例）

流域における基本的な施策 (第9条)	緊急性	降水量、取水制限日数、地下水賦存量、浸水戸数、アカウミガメ産卵数、漁獲量等
山間地域における基本的な施策 (第10条)	緊急性	森林面積、ダム水質測定データ
農村地域における基本的な施策 (第11条)	緊急性	農業振興地域内農用地区域内の農地面積
都市地域における基本的な施策 (第12条)	緊急性	水質測定データ、汚水処理人口普及率等
水利用の合理化 (第13条)	緊急性	静岡県の水需要(農水/工水/生活用水)等

【付属資料9】 参照